

2008年5月15日

ミスミグループ本社 2008年3月期 連結業績を発表

—売上高・営業利益・純利益ともに過去最高を計上—

株式会社ミスミグループ本社（本社：東京都江東区、社長：三枝匡）は本日、2008年3月期（2007年4月1日～2008年3月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

	<u>2007年3月期</u>	<u>2008年3月期</u>	<u>増減率</u>
	百万円	百万円	%
売上高	118,139	126,665	+7.2
営業利益	15,642	16,317	+4.3
当期純利益	9,447	9,698	+2.7
1株当たり当期純利益	108.42円	109.72円	+1.0
1株当たり年間配当金	22円	23円	+1円

2008年3月期の連結業績ハイライトは以下の通りです。

1. 売上高・営業利益は6期連続で過去最高を更新

- 2008年3月期の売上高は1,266億円（前期比7.2%増）、営業利益は163億円（前期比4.3%増）、当期純利益は96億円（前期比2.7%増）となり、売上高・営業利益は6期連続、当期純利益は5期連続で過去最高を計上しました。継続的な高成長・高収益を実現しています。
- 2008年3月期、日本では下期以降の大幅な円高・ドル安、原油価格の高騰により企業収益の圧迫が懸念されて株価が低迷し、企業マインドは悪化しました。また、海外ではアジア・中国経済が堅調に推移しているものの、米国では住宅金融問題に端を発した金融市場の混乱に伴い個人消費が低迷し、欧州でも米国の影響などにより成長率は減速しました。
- こうした中、当社は、継続的な新商品の開発、顧客ニーズに基づくプライスダウン、タイムリーな新規カタログ発行、インターネット販売用ウェブサイトの充実化等による積極的な販売促進策を展開する一方、顧客の求める短納期化ニーズに応える施策を進め、売上高は過去最高を計上するなど、安定した成長を継続することが出来ました。

2. 機械工業系全事業部門が堅調に推移

- 2008年3月期の事業部門別売上高は多角化事業を除く全事業部門で安定して成長することができました。なお、2006年10月に連結対象外となった(株)マルチビッツの売上、および2007年9月に連結対象外となった(株)ミクリードの売上を除いた機械工業系の実質的な売上は、高い伸び率を継続しており、前年対比で二桁近い成長となっています。
- 売上高は自動化事業で前期比10.5%増の622億円、金型部品事業で5.2%増の345億円、エレクトロニクス事業で9.5%増の129億円、光関連事業では37.4%増の59億円となりました。自動化事業、金型部品事業、エレクトロニクス事業では新商品の積極的な投入や納期短縮などにより売上を拡大、光関連事業では光センサー、光通信向けのシステムを中心に売上を大きく拡大することができました。

3. 海外売上高比率 20.4%—通年実績で初めて 20%を突破

- これまでに海外で現地通貨・現地語カタログを 7 拠点で 22 種類発行し、生産拠点は 9 拠点、物流拠点は 7 拠点へと拡大してまいりました。こうした製販一体のグローバル展開を積極的に取り組んだ結果、2008 年 3 月期の海外売上高は、258 億円（前期比 28%増）となりました。海外売上高比率は前期比 3.3 ポイントアップし 20.4%となり、通年実績として初めて 20%を突破することができました。

4. フロントエンド（販売・流通）、バックエンド（ものづくり）改革の継続

- 当社は、フロントエンド、バックエンドの改革に継続して取り組んできました。2008 年 3 月期、フロントエンド改革では、国内コールセンター集約を完了し（13 カ所から 2 カ所へ）、また、東日本流通センターの自社運営化を実施しました。バックエンド改革では、FA 用部品製造で高い技術力を持つ SP パーツの子会社化や、当社の協力メーカーを集めた集合生産基地「ミスミ生産パーク」の第一期稼働を開始しました。
- こうした改革を進めることで、高品質（Quality）、低コスト（Cost）、短納期（Time）を徹底的に追求し、さらなる成長を目指してまいります。

5. 前期比 1 円の増配

- 当社は「グループ連結純利益の 20%以上」の年間配当方針を掲げる中、2008 年 3 月期の 1 株当たり配当金は、の 23 円（前期比 1 円増）とする予定です。
- 安定的な配当の継続に努めた上で、内部留保金については、財務体質の充実・強化を図りながら、商品力・サービス力の向上と国内外の仕入・販売体制の強化など、成長のための投資に活用してまいります。

6. 2009 年 3 月期も安定成長を継続し、増収増益を見込む

- 米国の景気減速、および円高・原油高の影響が今後の国内企業の設備投資にも現れてくると見られる中、当社は「ミスミ QCT モデル」を追求し続けることで今後も安定成長を継続、2009 年 3 月期の売上高は 1,360 億円（前期比 7.4%増）、営業利益は 168 億円（前期比 3.0%増）、当期純利益は 100 億円（前期比 3.1%増）を見込みます。（詳細は下記の表をご参照ください）。

2009 年 3 月期の業績予想(連結)(2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	136,000	16,800	17,200	10,000	112.95

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2009年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社及び当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要素には当社及び当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2008 年 3 月期の当社連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
経営総務室 広報・IR 担当
Tel : 03-3647-7037 Fax : 03-3647-5802
電子メール : cc@misumi.co.jp